

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成24年4月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4673900108号
法人名	医療法人 トウスイ会
事業所名	グループホーム みのり園
所在地	鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地1358-2 0996-52-0122
自己評価作成日	平成24年3月13日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成24年3月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

町の中心部に、母体病院と隣接してホームが設置されており、入居者は診療や機能訓練など受けられるので、安心して暮らしている。職員全員は基本理念を忠実に実践し、利用者を尊重したケアに取り組んでいる。入居者も一緒に行う掃除や食事前の体操など、もてる力を活かすケアが、入居者の笑顔に表れており、自信や生き甲斐に繋がっている。「気軽におじゃったもんせ」の気持ちで外門や玄関の施錠はせずいつも解放しており、いつでもご家族や友人、知人が立ち寄り易い雰囲気作りに努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、町の中心部の幹線道路に面した母体病院に隣接して建てられている。玄関はゆるやかなスロープと段差の少ない階段になっている。日当たりも良く、季節の花が植えられ、家族や地域の方も、訪問しやすいよう配慮されている。利用者は活気があり、趣味を活かす支援を受けながら外部との交流を盛んに行っている。母体病院のリハビリや急変時の対応も行われることから、利用者や家族も安心できるホームとなっている。職員も明るく元気があり、ホームの理念に沿った利用者対応が出来ている。地域行事とのコミュニケーションも図り、地域に密着したサービス提供を目指す事業所である。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	基本理念1～5 気軽におじゃったもんせの理念を共有し、ご家族を含め地域の方々が気軽に遊びに来れる雰囲気作りを実践している。	五つの理念をホールに掲示し、新職員採用時には身に付けるように促している。また毎年理念に基づいた目標をユニットごとに掲げ、ケア会議の際にも理念を確認する機会を設けるなど実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的な散歩などで近隣の方々と会話を交わしたり、公民館活動の参加を積極的に行っている。例えば、子供会とのふれあい（七夕作り）など定期的な行事も定着している。	地域の夏祭りや六月燈に出掛けたり、ホーム内の催し物には地域の方を招待している。保育園との交流や高校生の実習受入れなどがあり、地域の一員として日常的に交流している。また地域の民生委員が高齢者を連れてホームに遊びに来ることもある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	面会に来られたご家族や親戚、運営推進委員会の中で認知症の方の行動など知って頂く機会を作り、支援のお願いをしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会では当園での細かな状況報告を行い多種方面の方々より意見を頂いている 頂いた意見は職員会議におろし話し合いのもと、より良いサービスが提供出来る様努めている	運営推進会議はさつま町の担当者をはじめ、公民館長、民生委員、家族代表参加のもと、2ヵ月に一回開催されている。議事録のなかにも行事報告や評価への取組み状況などについてまとめられ、出された意見をサービス向上に活かしている。	

鹿児島県 グループホームみのり園 1ユニット

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域ケア会議に参加し、市町村介護保険担当者及び包括支援センターとは常に連携をとり、サービスの質の向上に努めている。	日頃から事業所の実情を伝え、困難事例などについては、直接担当者の下へ出向き相談し連携を図っている。また敬老の日には、市町村から高齢者に直接お祝いが届けられ協力関係が築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設け身体拘束委員会を実施し常に身体拘束が行われていないかをチェックしている。身体拘束委員会で話し合われた内容は職員会議に下ろし全ての職員が周知するようにしている。	身体拘束委員会を設け、アンケートを中心とした勉強会を開き全職員も周知している。日中の玄関は施錠せずに自由な生活を支援し、外出傾向のある利用者については散歩で対応するなど身体拘束をしないケアについて正しく理解している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議等で虐待防止について話し合っている。また、新聞やテレビ等で報道された時などは新聞ではスクラップしテレビ等では朝礼時などで話し合い当園では起こらないように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護に関する制度については管理者や職員は概ね理解している。必要性のある事例は発生していない。		

鹿児島県 グループホームみのり園 1ユニット

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者及び家族が納得されるよう十分な説明を行い、理解、納得されたか確認を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見等の受付箱を設けている。また、ご家族の面会時は管理者や職員が直接意見・要望を伺いそれらを運営に反映させている。	玄関に意見箱が設置されている。電話連絡時や面会時には、家族からの意見や要望を伺うことや、みのり園便りを4ヵ月に一回利用者の写真と近況報告の載せて送るなど家族から意見を引き出す工夫が見られ、全職員が利用者の情報を共有し運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議や朝礼等での意見を集約し管理者が主任会議にて反映出来るよう努めている。	ケア会議はユニット毎に毎月行い、合同で職員会議も開催している。開設当初から勤務している職員も多く、活発な意見や提案を運営に反映させている。職員の資格取得には勤務時間を考慮するなど職員意見の反映が見られる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	運営上できる限りの条件整備に努めている。		

鹿児島県 グループホームみのり園 1ユニット

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者研修、消防に関する研修、紙オムツ専門業者による排泄ケアの勉強会を実施。 また、未経験者の雇用を促進し働きながら資格が取得出来るよう配慮している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者間での情報交換はなされているがネットワーク作りなどは行っていない。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面談時、ご本人とゆっくり話を聞く場を設けている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所申請時などで信頼関係が持てるよう話し合いを設けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族の実情に応じ、他グループホームやサービスの紹介を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家庭的な雰囲気を大切に、毎日の生活を共に行える様心がけている。		

鹿児島県 グループホームみのり園 1ユニット

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月ご家族へ近況報告をかねた写真入りの手紙を送り、協力しあえる関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	年賀状を出したり、お墓参りや一時帰宅の支援を行っている。	友人知人の入院先に家族と面会に行ったり、入居前からの趣味の会の方々との交流も継続して支援し、利用者によっては元同僚や教え子の訪問もある。墓参りや一時帰宅によってなじみの人や場所のとの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いの関係が上手くいくような雰囲気作りやテーブルの席の配置の工夫、役目などを決め職員が橋渡しを行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所後であってもお見舞いに行ったり、行事がある時は見に来て頂けるよう声をかけ、関係を継続している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人のこれまでの人生をご本人、ご家族、友人知人等から聞き取り把握出来るよう努めている。困難な場合でもご本人の発する言動の中から探り出せる様努めている。	一人ひとりの思いや暮らし方の希望を日常の会話や言動で把握し、困難な場合は家族や知人から聞取りや、職員間で利用者の意向を共有しながら本人本位に検討しケアに努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時、これまでの生活歴や状況をご本人、ご家族、友人知人等から聞いたり、病院や施設の情報をもとに把握している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	24時間の記録、申し送りで把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	一人一人に専属の担当者をつけご家族や民生委員との連携を図りながら現状に即した介護計画を作成している。	その人らしく暮らし続けるための課題とケアのあり方について会議を開き、利用者の好きなことを支援できるサービス内容を盛り込んだ介護計画を作成し、現状に即した定期的な見直しも行っている。リハビリに行ったり、短歌の趣味の会の支援、買物で地域交流を図るなどもその一例である。	

鹿児島県 グループホームみのり園 1ユニット

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録等を活用しながら、朝礼や申し送り等で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人のニーズを尊重出来るような支援に努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	民生委員、ボランティア、公民館、警察、消防など当園への協力を頂きながらご本人が豊かに生活出来るよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	当園の運営主体が病院の為、入所時にご本人、ご家族の納得のもと安心して医療が受けられる体制である また、歯科、眼科、精神科等もご本人、ご家族の要望に添う支援を行っている	本人と家族の希望するかかりつけ医受診と、母体である病院の受診も可能な体制である。また必要な場合は専門医の受診支援も行い、家族には随時、結果報告をしながら適切な医療を受けられるように支援している。	

鹿児島県 グループホームみのり園 1ユニット

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常に連携を取りながら健康管理面に配慮している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	病院関係者とのきめ細かい連携が出来るよう、関係作りに気を配っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	初回面談時、重度化や看取りについてご本人、ご家族の意向を尊重出来るよう十分話し合っている。また、事業所で出来る事なども説明した上で納得を頂いている。地域の関係者では主に民生委員の方と協働している。	入居時に、本人と家族の方に重度化や終末期に関する事業所でできる事の説明を行っている。しかし状況変化に応じた段階的な合意の必要性については、かかりつけ医や家族の意見を考慮し、全職員が方針を共有し支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な避難訓練の中で消防職員の立ち会いの下、応急手当や初期対応の訓練を実施している。		

鹿児島県 グループホームみのり園 1ユニット

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議の中で災害対策を議題に十分話し合っている。定期的な避難訓練の中で、地域の方の協力を頂きながらの訓練も行っている。	定期的な避難訓練は地域の住民、医院の子どもや看護師、消防団の協力のもと行われ、また法人の医療機関とも協力体制について話合いが行われている。スプリンクラーや自動通報システムも完備され、災害時の備蓄も確保している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの尊厳を園の理念に掲げ、職員研修や個々の学習を行い対応している。	事業所の理念のひとつとして取上げ、ケア会議では個々に合った声掛けや関わりを話し合い、利用者の人格を損ねることのないようにプライバシーの確保をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	できる限りご本人の自己決定を重視し思いや希望を見出せる努力を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の訴えを尊重し実現出来るよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人の好みを知った上で身だしなみやおしゃれの支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前のテーブル拭き、お茶入れ等、準備、声かけで実施されている。楽しく食事が出来る様食前の体操や雰囲気作りに心掛けている。	毎日の食事が楽しみなものになるように、利用者の好みや、季節の物を出している。配膳やお茶入れなど一人ひとりの力を活かし、家庭菜園もアドバイスをもらいながら草取りや収穫を職員と一緒に楽しんでいる。	

鹿児島県 グループホームみのり園 1ユニット

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取量のチェックを行いながら、その人の状態や力、習慣に応じた支援を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声かけを行い、義歯の場合は定期的に洗浄剤を使用し口腔内の清潔を保っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の自立困難な方であっても排泄パターンを把握して声かけを実施し出来る限りトイレでの排泄が出来る様支援している。	チェック表での排泄パターンを把握して声掛けを促し、おむつ使用の利用者はいない。また入居してからおむつからリハビリパンツに改善された利用者もいる。居室に置かれたポータブルに関しては目隠し衝立をさり気なく置くなど、排泄自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や影響を理解しながらその人の日常の行動を見守っている。 また、便秘予防の為牛乳やヨーグルトを毎日摂取して頂いている。		

鹿児島県 グループホームみのり園 1ユニット

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	業務の流れで入浴の時間帯はほぼ決まっているが、個々の都合に合わせて支援している。	本人の希望に沿って個々に応じた入浴支援を行っている。夏場はシャワー浴で清潔保持に努め、温泉の為、ゆず湯で季節を感じたり、入浴を楽しむ支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の環境を整え、自分の部屋であるという認識のもと安心して昼寝や休息が取れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院、薬局の指示のもと服薬の支援をしている。症状の変化が見られる時などはすぐ連絡を取り指示を仰いでいる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の力を生かした役割分担や趣味を継続出来る支援をしている。調理、配膳下膳、掃除、洗濯物干し、畳み、花生け、草取り、散歩、ドライブ等。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の体調に合わせた散歩やドライブ、買い物等の支援をしている。定期的な行事の中にも遠方への外出を計画に取り入れている。また、ご家族へ相談しながら一緒に墓参りや帰宅の支援をしている。	買物同行、散歩、個々の体調に合わせてドライブなどに出掛け、年間行事ではお弁当持参で遠足にも出掛ける。個別支援は家族の協力をもらいながら墓参りや一時帰宅の機会も設け、日常的な外出支援となっている。	

鹿児島県 グループホームみのり園 1ユニット

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々、財布を所持され買い物等で必要な物を購入出来るよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人自らが電話出来るよう支援している。 また、手紙の宛名書きや投函の支援を行っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日の掃除等で清潔な環境作りを心がけている。 また、季節毎の飾り付けを施している。空調や音楽などの音量も時間帯をみて調整している。	音楽の流れる清潔感の溢れる共用空間は広く利用者がゆっくりくつろげる作りとなっている。廊下やフロアには利用者の制作した作品が飾られ、家族にとっても安心を共有できる空間づくりである。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブル配置の工夫でリビング、ダイニングの利用が自由に出来る様配慮している。 また、玄関脇やベランダ等に椅子を設置し独りになれる場所を作っている。		

鹿児島県 グループホームみのり園 1ユニット

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた私物やご家族の写真等をレイアウトし個性的な居室で気持ち良く生活出来る様支援している。	趣味の作品作りの机や、ベッドも使い慣れた物を持ち込む利用者もいる。また家族との写真を飾ったり、季節の花が活けてある。なじみの物を活かし居心地よく過ごせる居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各所に手摺りをつけ車椅子でも自力でトイレが出来る様、また、浴室も安全に利用出来る様配慮している。 また、居室やトイレ等にはネームプレートをつけ、混乱しない様配慮している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームみのり園 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームみのり園 1ユニット

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない